

# 2013年3月期第3四半期 決算説明会

2013年1月31日  
株式会社トプコン  
取締役社長 内田憲男

## 2013年3月期第3四半期 決算説明会

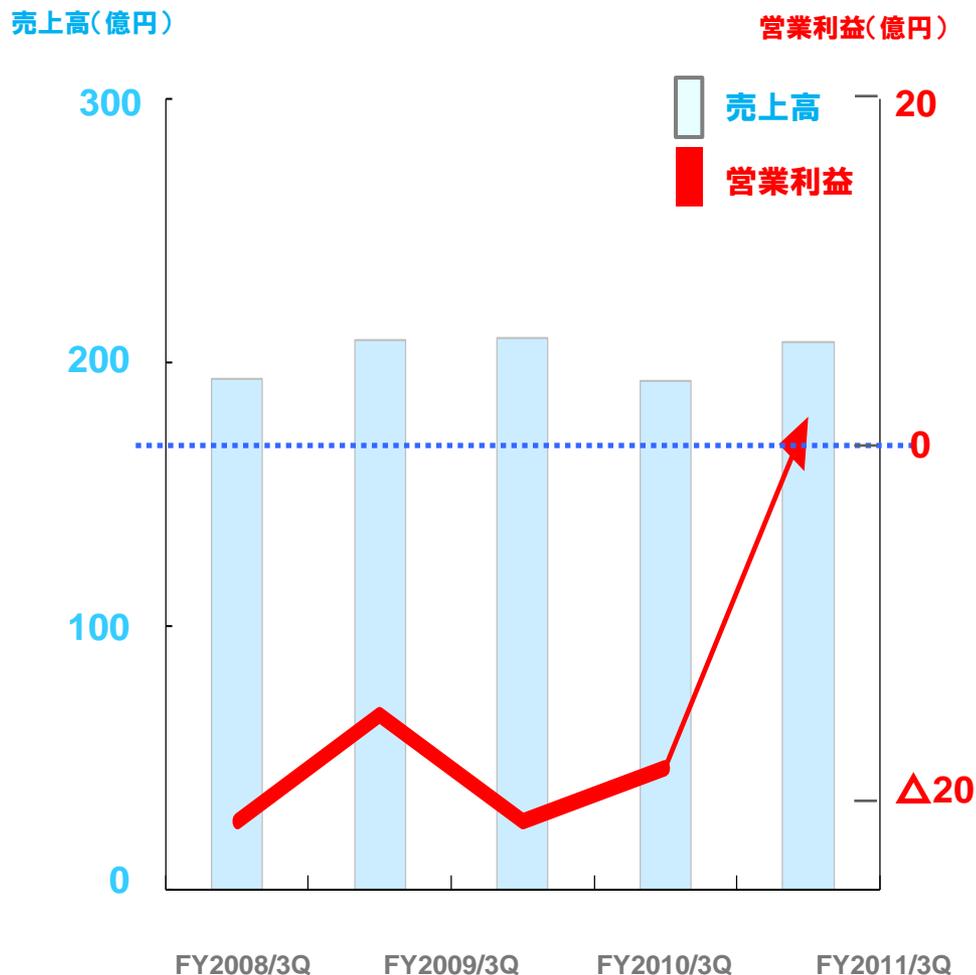
**I** 2013年3月期第3四半期決算報告

**II** 2013年3月期通期見込

**III** 参考資料

# I. 2013年3月期 第3四半期決算報告

## 3Q会計期間業績推移



### 改善理由

- Reform効果
- カンパニー制導入による責任の明確化

(単位:百万円)

[連結]	FY2011/3Q	FY2012/3Q	
	実績	実績	前年同期比
売上高	19,299	20,752	1,453
売上総利益 (売上総利益率)	7,200 (37.3%)	9,500 (45.8%)	2,300
販管費	9,037	9,298	261
営業利益 (営業利益率)	△1,837 (△ 9.5%)	201 (1.0%)	2,038
営業外損益	△302	△339	△37
経常利益	△2,139	△137	2,002
特別損益	△3,764	*△125	3,639
税引前利益	△5,903	△263	5,640
四半期純利益	△3,916	△336	3,580

改善理由  
事業構造改革効果

・粗利8ポイント改善

・5年ぶりの黒字達成

・大幅に改善

※ 特損約2億円計上(中国新社屋移転中止) → 中国はグローバル生産拠点から地産地消に切り換え(SIC/ECC)

(単位:百万円)

[連結]		FY2011/3Q	FY2012/3Q	
		実績	実績	前年同期比
売上高	スマートインフラ	3,538	4,579	1,041
	ポジショニング	6,231	7,661	1,430
	アイケア	7,191	6,910	△281
	その他	2,339	1,600	△739
	合計	19,299	20,752	1,453
営業利益 (営業利益率)	スマートインフラ	△634 (△ 17.9%)	340 (7.4%)	974
	ポジショニング	△587 (△ 9.4%)	△237 (△ 3.1%)	350
	アイケア	△125 (△ 1.7%)	240 (3.5%)	365
	その他	△489 (△ 20.9%)	△142 (△ 8.9%)	347
	合計	△1,837 (△ 9.5%)	201 (1.0%)	2,038

改善理由

事業構造改革効果

・各カンパニーとも大幅増益

# 構造改革の成果 <前年同期比大幅改善>



[連結]

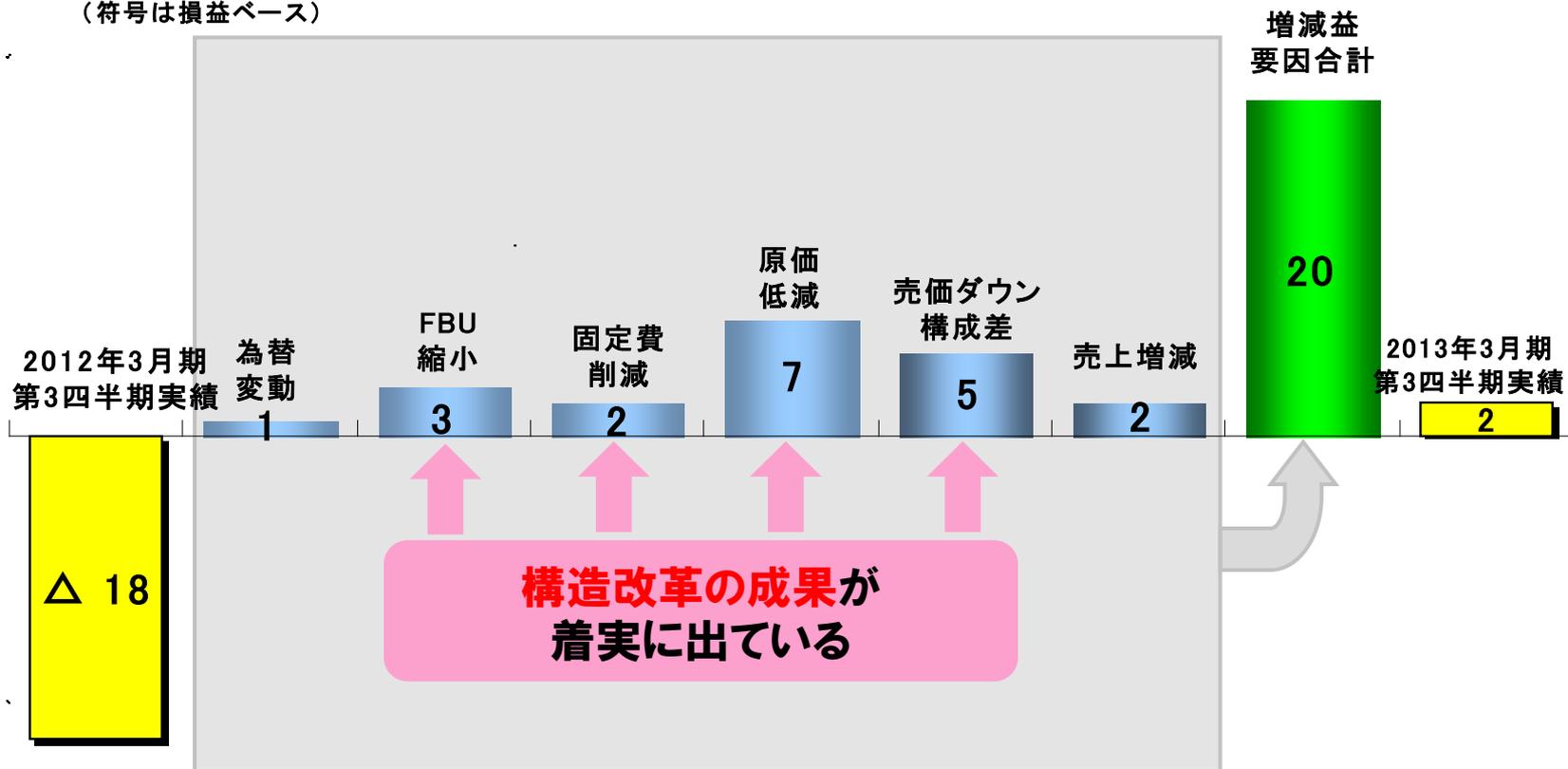
2012年3月期  
第3四半期会計期間



2013年3月期  
第3四半期会計期間

(単位: 億円)

(符号は損益ベース)



# FY2012 3Q(累計)実績 <大幅増益>



(単位:百万円)

[連 結]	FY2011/1Q~3Q	FY2012/1Q~3Q			
	実績	実績 A	前年同期比	為替影響除く B <sup>*</sup>	
売上高	68,877	66,874	△2,003	67,591	
売上総利益 (売上総利益率)	26,086 (37.9%)	28,900 (43.2%)	2,814	29,567 (43.7%)	
販管費	27,406	27,192	△214	27,406	
営業利益 (営業利益率)	△1,320 (△1.9%)	1,707 (2.6%)	3,027	2,162 (3.2%)	
営業外損益	△1,508	△1,358	150	△1,496	
経常利益	△2,828	349	3,177	666	
特別損益	△4,406	△1,287	3,120	△1,281	
税引前利益	△7,235	△938	6,297	△615	
四半期純利益	△5,877	△1,558	4,319	△1,357	
為 替 換算レ-ト (期中平均)	US\$	79.17 円	80.43 円	1.26 円	
	EUR	111.32 円	103.24 円	△ 8.08 円	

※ Bは実績Aを前年同期の為替で換算しています

# FY2012 3Q(累計)実績 <各カンパニーとも増益>



(単位:百万円)

[連結]		FY2011/1Q~3Q	FY2012/1Q~3Q		
		実績	実績 A	前年同期比	為替影響除く B ※
売上高	スマートインフラ	12,812	14,114	1,302	14,124
	ポジショニング	22,960	24,042	1,082	24,376
	アイケア	22,811	21,388	△1,423	21,808
	その他	10,292	7,328	△2,964	7,281
	合計	68,877	66,874	△2,003	67,591
営業利益 (営業利益率)	スマートインフラ	△654 (△ 5.1%)	1,096 (7.8%)	1,750	1,197 (8.5%)
	ポジショニング	△59 (△ 0.3%)	300 (1.2%)	359	393 (1.6%)
	アイケア	299 (1.3%)	671 (3.1%)	372	931 (4.3%)
	その他	△906 (△ 8.8%)	△361 (△ 4.9%)	545	△360 (△4.9%)
	合計	△1,320 (△ 1.9%)	1,707 (2.6%)	3,027	2,162 (3.2%)

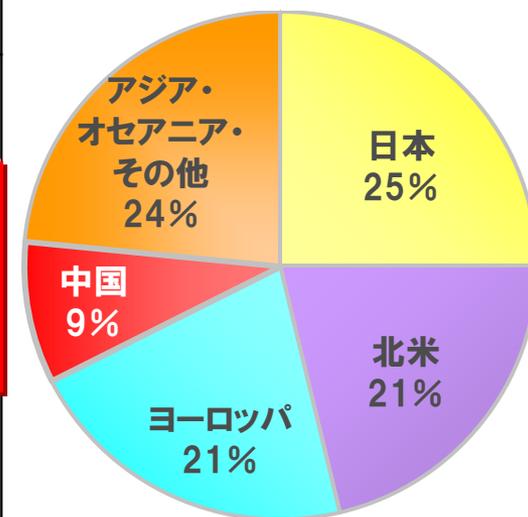
※ Bは実績Aを前年同期の為替で換算しています

# 国内・海外売上高(前年同期比) <欧州と中国は依然厳しい>



(単位:百万円)

[連結]	FY2011 1Q~3Q	FY2012/1Q~3Q			FY2012/1Q~3Q 地域別売上構成比
	実績	実績	前年同期比 (%)	為替影響と 旧ファインテック 事業を除く (%)	
日本	16,592	16,716	101%	117%	
北米	13,278	14,224	107%	106%	
ヨーロッパ	16,120	14,212	88%	94%	
中国	6,908	6,046	88%	93%	
アジア・ オセアニア・ その他	15,978	15,673	98%	101%	
合計	68,877	66,874	97%	103%	



# 「営業利益」増減益要因分析(前年同期比)



## 構造改革の成果が着実に出ている

[連結]

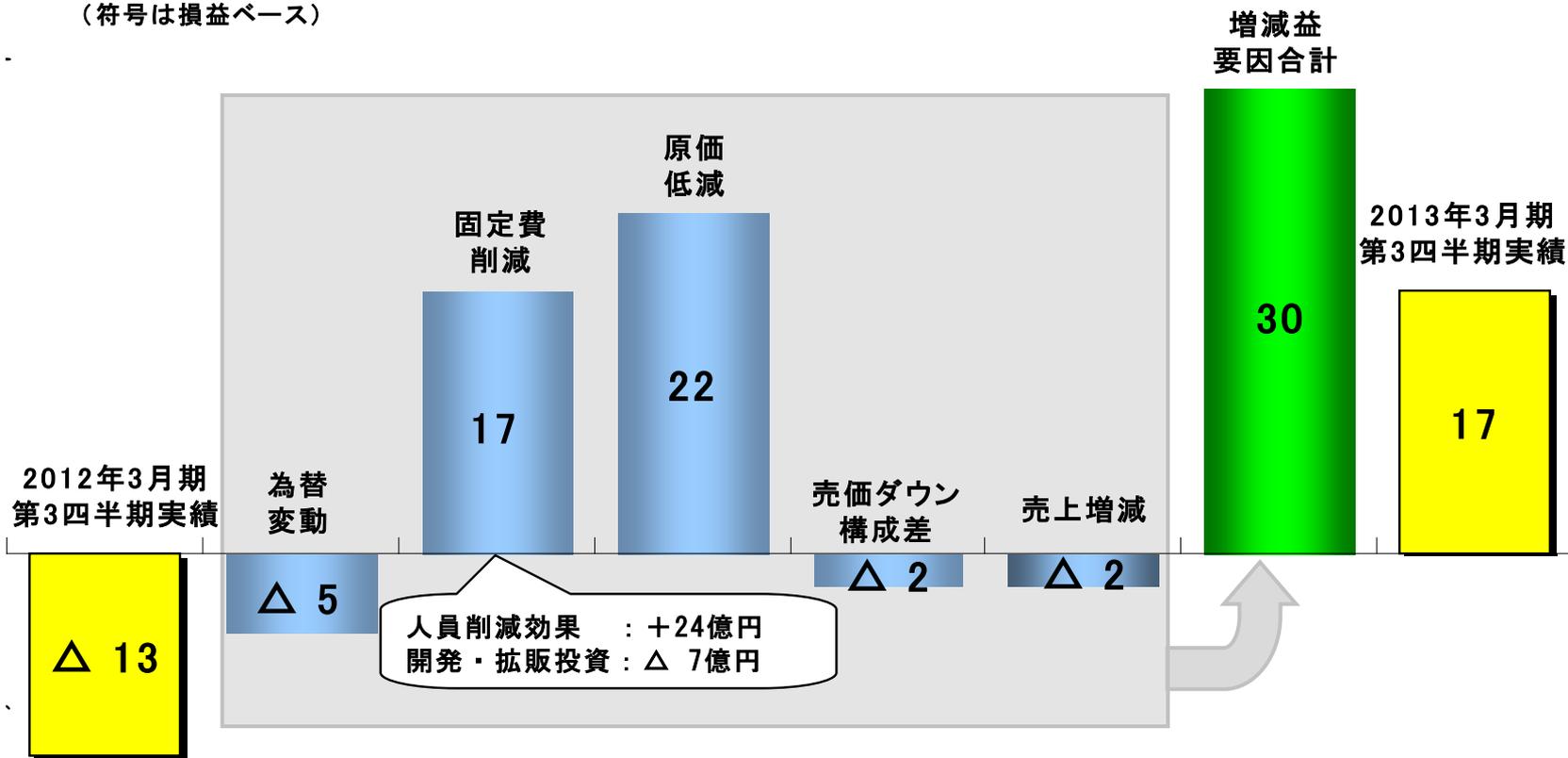
2012年3月期  
第3四半期累計期間



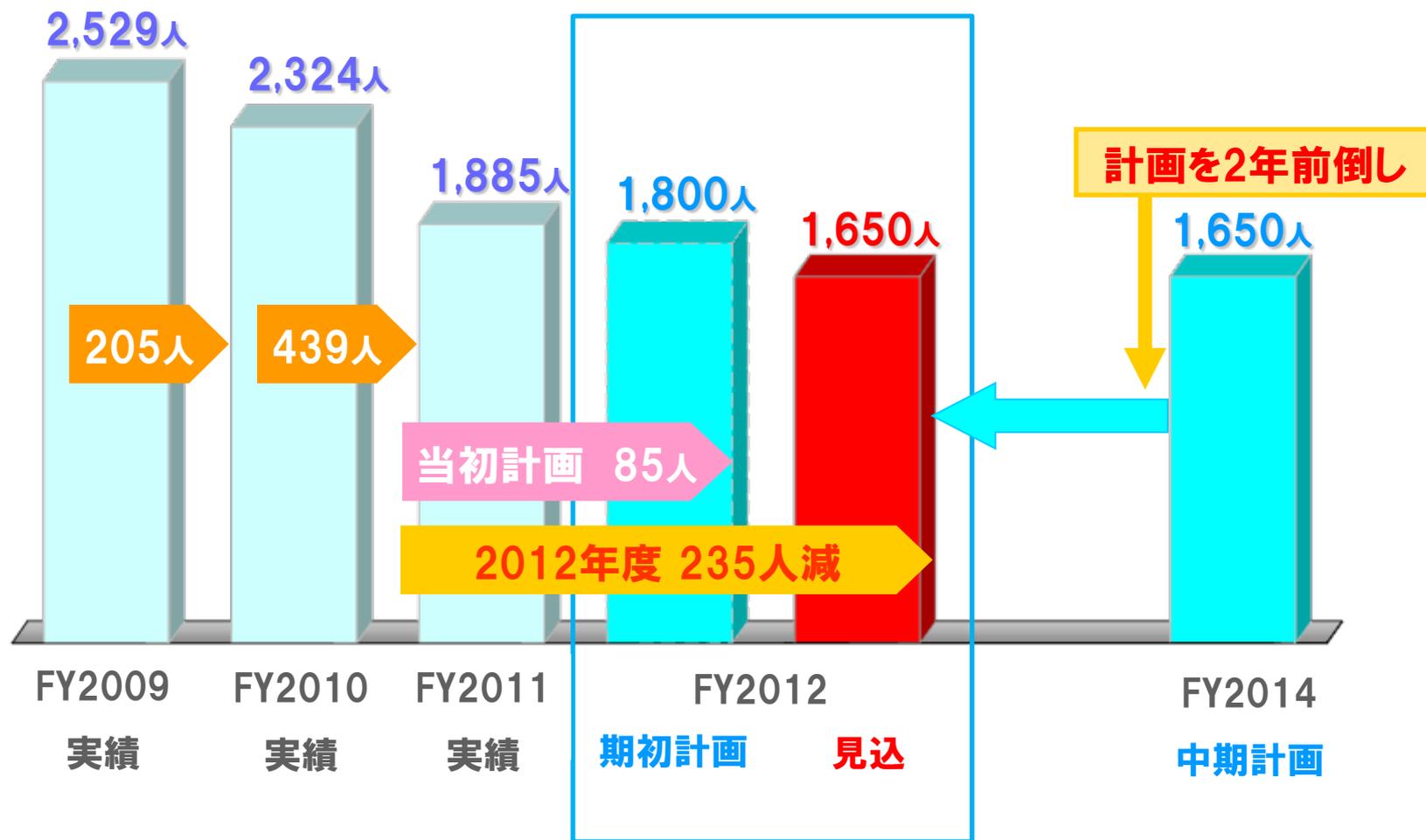
2013年3月期  
第3四半期累計期間

(単位: 億円)

(符号は損益ベース)



# Reformの前倒し <国内連結人員数は計画通り>



## VA/CD・人件費削減効果

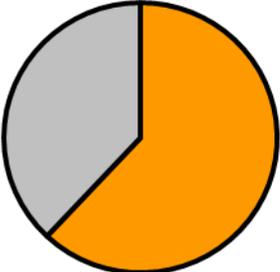
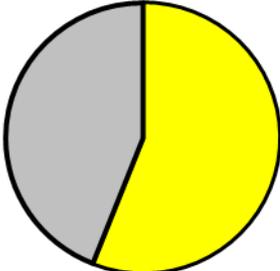
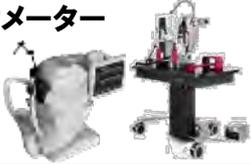
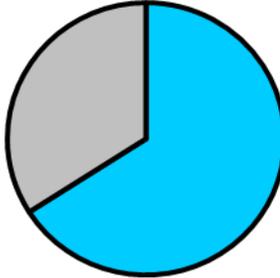
### ■ 国内の最適生産体制構築の進捗状況

SIC	本社に集約(1月完了済み)
ECC	山形に集約(12月完了済み)
部品	福島に集約(3月完了予定)
効果	2013年度以降：営業利益 <b>20億円</b>

人員削減コスト 15億円  
ランニングコスト 5億円

# 商品の上市 <新製品投入は計画通り>



カンパニー	主な新製品		戦略製品群 売上構成比(%)
	1~3Q(実績)	4Q(見込)	
スマートインフラ	<p>トータルステーション <b>世界初</b> (クラウド対応) 3次元計測 レーザー機器</p> 	<p>トータルステーション(低価格) トータルステーション (モータードライブ) <b>世界最軽量</b></p> 	
ポジショニング	<p>GPS受信機 <b>世界最小・最軽量</b> GPS用ソフトウェア(クラウド対応) <b>業界初</b> GNSSボード <b>世界最小</b></p> 	<p>農業用オートステアリングシステム <b>世界最小</b> 建機・農機向OEMビジネス</p> 	
アイケア	<p>ハイエンドOCT※ <b>世界初</b> スリットランプ 検眼機器</p> 	<p>普及型OCT <b>世界初</b> レーザ治療器(新ラインアップ) <b>世界初</b> 屈折検眼装置(共通プラットフォーム) オプティカル・バイオメーター</p> 	

※OCT・・・Optical Coherence Tomography

## 新製品の投入（2012年度の見込）

（機種）

カンパニー	FY2012					年間 見込	FY2012-FY2014 見込
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 見込			
スマートインフラ	2	2	0	2	6	18	
ポジショニング	3	3	1	3	10	23	
アイケア	0	5	0	5	10	17	
合計	5	10	1	10	26	58	

## Enhancementのドライバー

カンパニー	新事業分野	成長率
		2011/3Q→2012/3Q
スマートインフラ	3D計測	115%
ポジショニング	自動化施工	120%
	IT農業	130%
アイケア	治療機器・眼科IT	130%

## II. 2013年3月期通期見込

# FY2012 通期業績見込



(単位:百万円)

[連 結]		FY2011	FY2012		2012年10月31日 公表値
			通期 実績	通期見込 見込	
売上高		98,834	98,000	99%	98,000
営業利益 (営業利益率)		2,080 (2.1%)	5,000 (5.1%)	240%	5,000 (5.1%)
経常利益		467	3,200	685%	3,200
当期純利益		△3,686	500	—	500
ROE		△10.6%	1.6% <sup>※</sup>		1.6%
ROIC		1.6%	4.5%		4.5%
配当		4 円	6 円		6 円
為 替 換算レート (期中平均)	US\$	79.30 円	81.49 円		77.38 円
	EUR	110.17 円	105.95 円		98.30 円

為替レートは1月以降85円/ドル、115円/ユーロを前提としております

※特損控除後のROE 4.6%

# FY2012 通期業績見込 (カンパニー別)

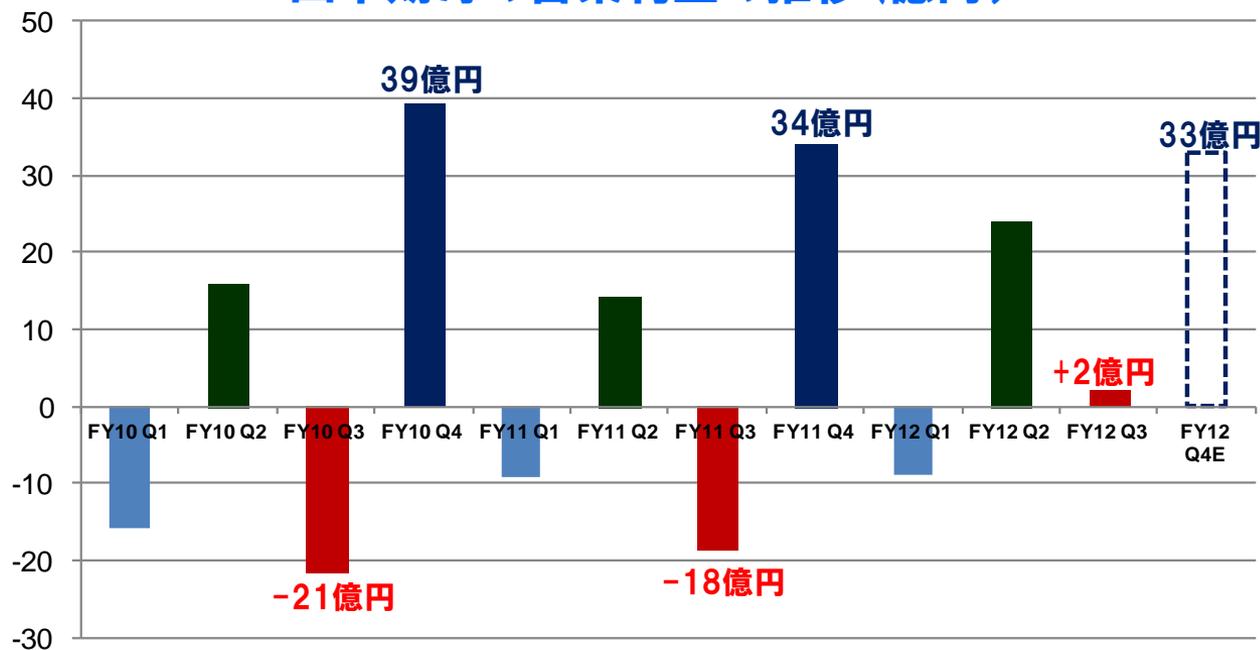


(単位:百万円)

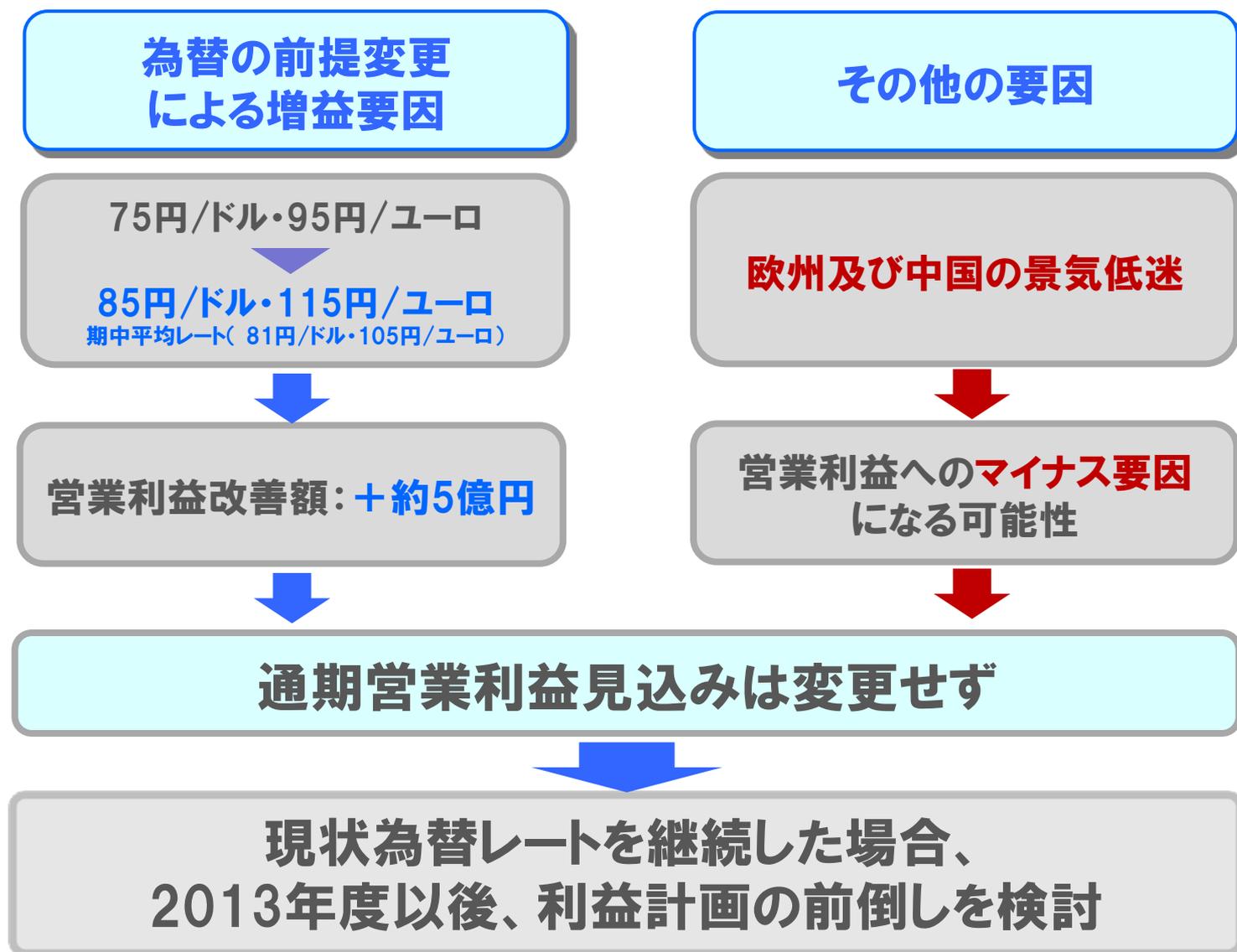
[連 結]		FY2011	FY2012		
			通期	通期見込	
		実績	見込	前年度比 (%)	公表値
売上高	スマートインフラ	19,656	21,000	107%	21,000
	ポジショニング	33,000	33,000	100%	33,000
	アイケア	32,598	33,000	101%	33,000
	その他	13,579	11,000	81%	11,000
	合計	98,834	98,000	99%	98,000
営業利益 (営業利益率)	スマートインフラ	975 (5.0%)	1,600 (7.6%)	164%	1,600 (7.6%)
	ポジショニング	508 (1.5%)	1,400 (4.2%)	276%	1,400 (4.2%)
	アイケア	1,766 (5.4%)	2,000 (6.1%)	113%	2,000 (6.1%)
	その他	△1,168 (△8.6%)	0 (0%)	-%	0 (0%)
	合計	2,080 (2.1%)	5,000 (5.1%)	240%	5,000 (5.1%)

通期営業利益目標50億円達成のためには、  
第4四半期で33億円の営業利益が必要

四半期毎の営業利益の推移 (億円)



変動要因があるため予断は許さないものの、  
目標達成に向け最善の努力を継続



# 「営業利益」増減益要因分析(前年度比)



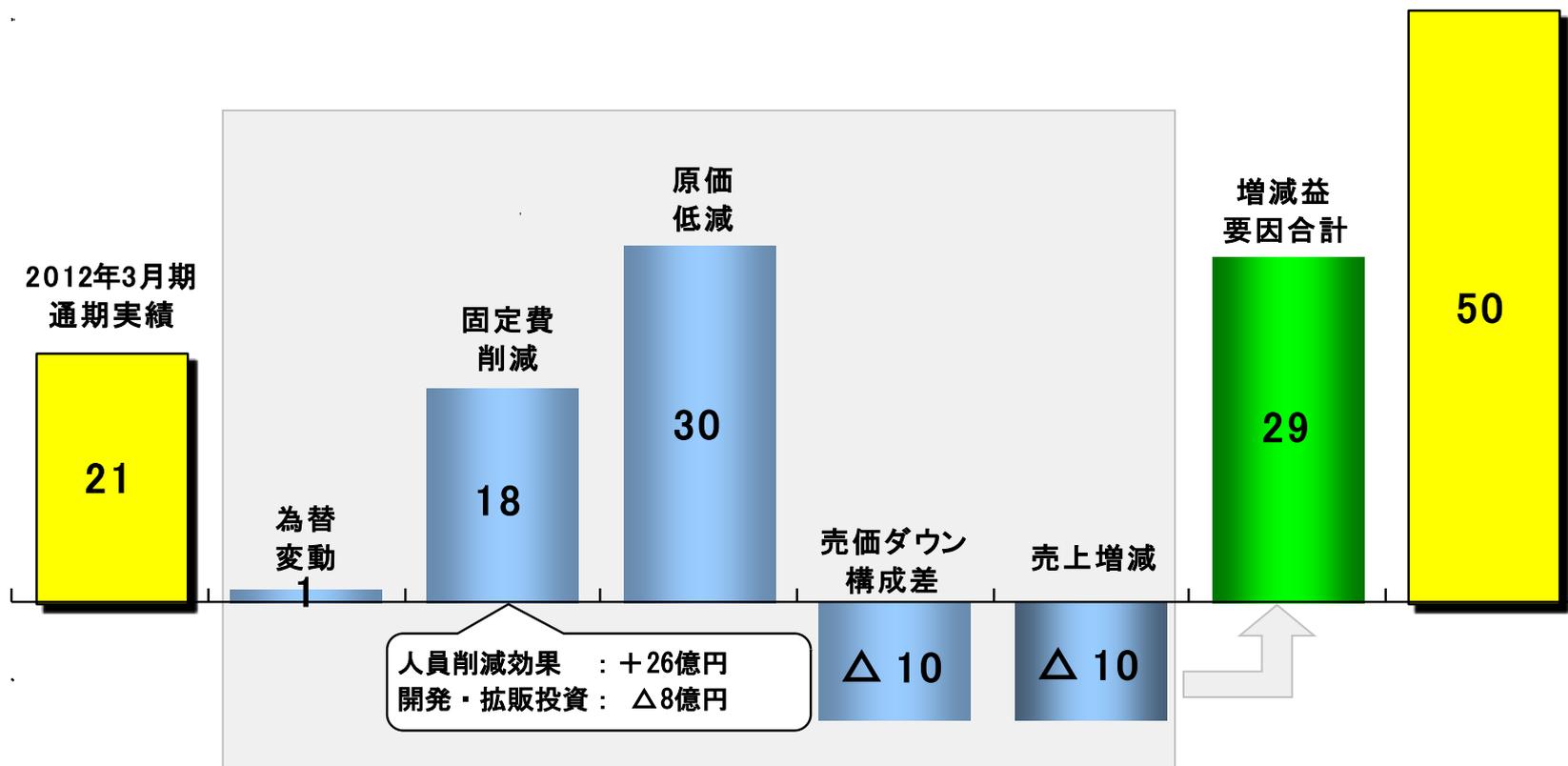
※3Q決算時

[連結]

( 2012年3月期 通期実績 → 2013年3月期 通期見込 )

(単位:億円)

(符号は損益ベース)



## スマートインフラ – 国内 復興関連事業への貢献

### 当社の最新技術により 復旧・復興の支援と防災体制の整備



Machine Control



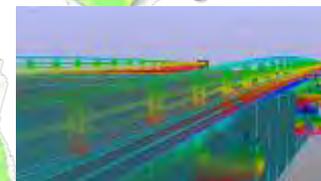
Mobile Mapping

Imaging Analysis



Laser Scanner

3D Modeling



Monitoring



#### 防災・自然災害監視



#### 復興地図作成



#### 建造物の維持管理



#### 危険箇所の自動施工



#### 除染事業



※写真はイメージです。

## スマートインフラ – 新興国市場への注力

### インフラ整備が急拡大する新興国市場をターゲット



★ 低価格トータルステーション

**New**



「Cygnus」(2013年1月リリース済)

★ 世界最軽量

モータードライブトータルステーション

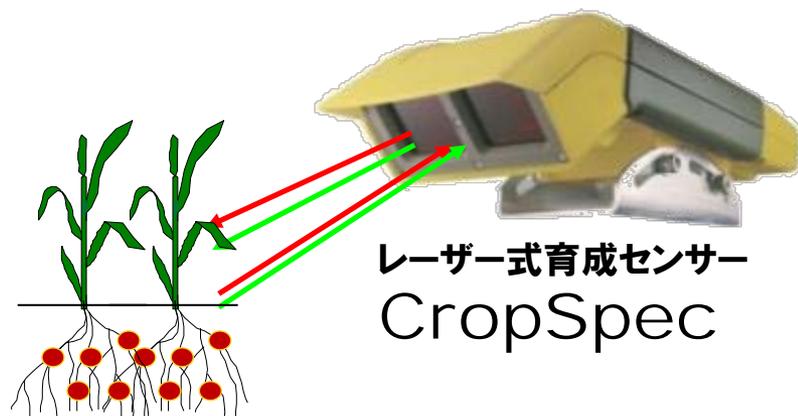
**New**



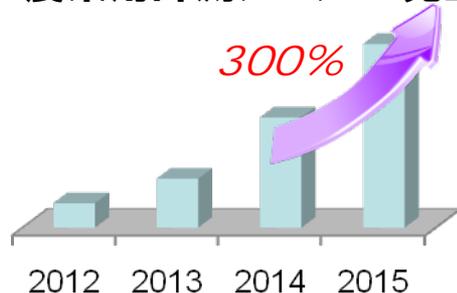
「DS/DX AC」(2013年1月リリース済)

## スマートインフラ - 国内IT農業の本格展開

**光分析技術で新・農業用センサーを投入**  
育成度に合わせた施肥を行い、歩留まり向上・減肥効果を実現



農業用計測システム 売上高

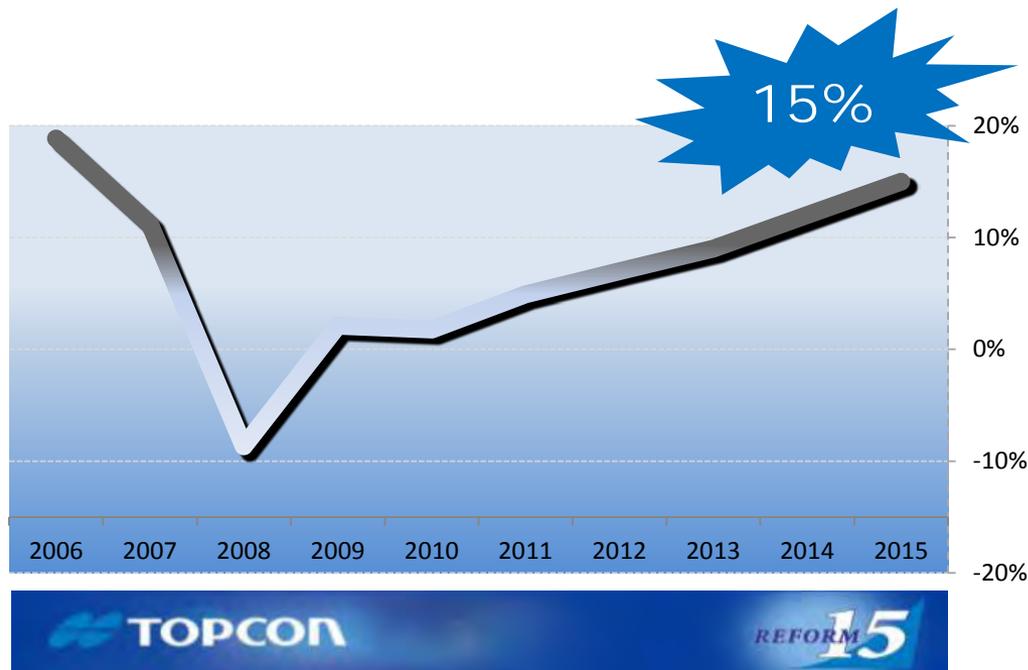


十勝農業試験場の研究に採用されるとともに、北海道農業試験場会議の「普及推進事項」として採択されたことにより、北海道で普及が奨励された。

## ポジショニング – 事業構造改革を強力に推進

“Reform 15” – ポジショニング・カンパニーにて構造改革をさらに推進

■ 2015年度に**営業利益率15%**を達成



- ✓ 固定費の削減
- ✓ サプライヤーの厳選によるコストダウン
- ✓ プロジェクトの選択と集中による開発スピードアップ
- ✓ 売掛金、在庫削減
- ✓ 販売網、組織の再編

## ポジショニング – 新規事業への参入

**New**

世界のBIM (Building Information Modeling)市場を  
リードする**オートデスク社**と提携(戦略商品の供給)



建設に関わる全てのステークホルダーに情報提供

BIMとは？

**建設業の産業革命！**

- 1) 設計から計測、作業、管理まで、  
一貫したシームレスな作業フローを提供
- 2) 各作業生産性の飛躍的向上

**推定市場規模(2020年): 5,500億円**  
**将来的に100億円の売上を目指す**

## ポジショニング - OEM販売の拡大

### ■ 建機メーカー・農機メーカーへのOEM供給推進



推定市場規模  
1,000億円



## ポジショニング – 商品力強化(ハイエンドの製品ポートフォリオ完成)

### ■ 新製品でIT農業分野のシェア拡大

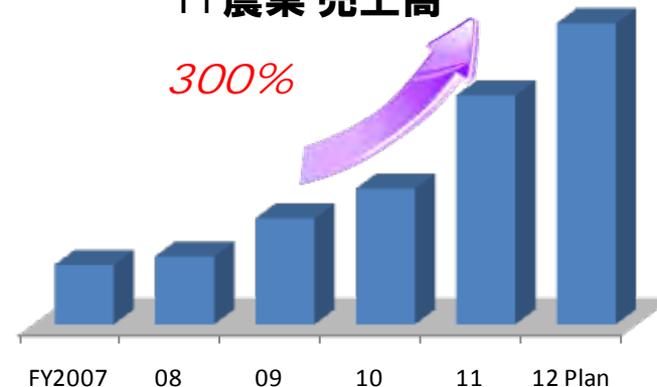
**New** AGI-4  
世界最小オートステアリングシステム発売

1/29~31 米国ミズーリ州にて開催中、  
「AG CONNECT Expo & Summit」にて発表



IT農業 売上高

300%

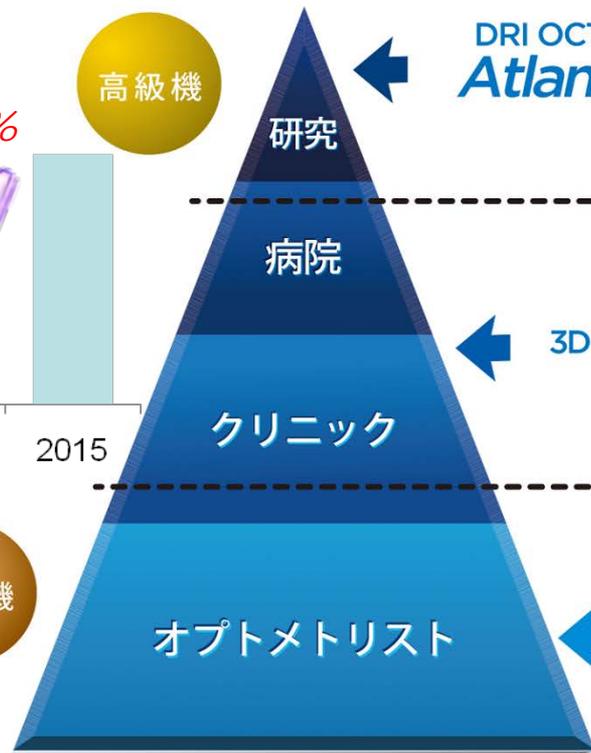


推定市場規模  
1,000億円

## アイケア – 商品力強化:フルラインアップでOCT市場を制覇

**世界初**の高深達OCTを投入(高級機)  
**世界初**の自動撮影OCTを投入(普及機)

フルラインアップを実現



DRI OCT-1  
*Atlantis*



**世界初!** 高深達 OCT

研究者・  
スペシャリスト向け

3D OCT-2000 Series



現行品

3D OCT-1  
*Maestro*



**世界初!** 自動撮影 OCT

クリニック・  
オプトメトリスト向け

アイケア – 商品力強化:治療器のラインアップ強化

## PASCALに新ラインアップ追加!

レーザコンソールタイプ  
PASCAL Synthesis

**NEW**

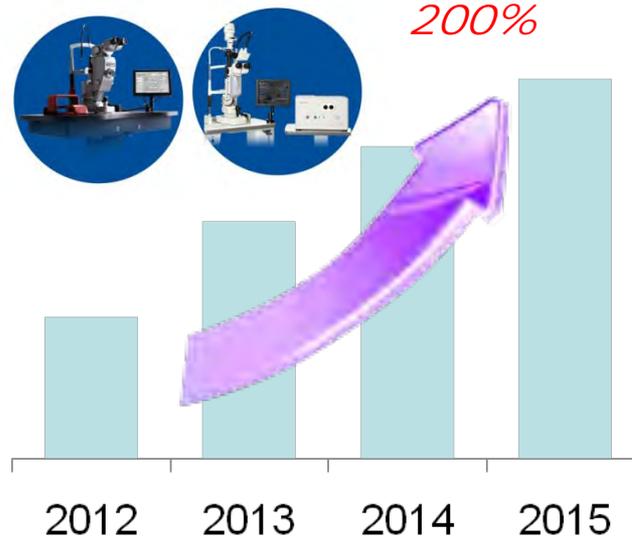


コストダウン 20%

オペ室でも利用可

\* 眼内プローブ接続時

販売台数



## アイケア – 商品力強化: 価格競争力アップ、新製品投入のスピードアップ

- 共通プラットフォーム化により大幅コストダウンと開発効率向上を実現



NEW

3D OCT-1

**Maestro**

共通プラットフォーム

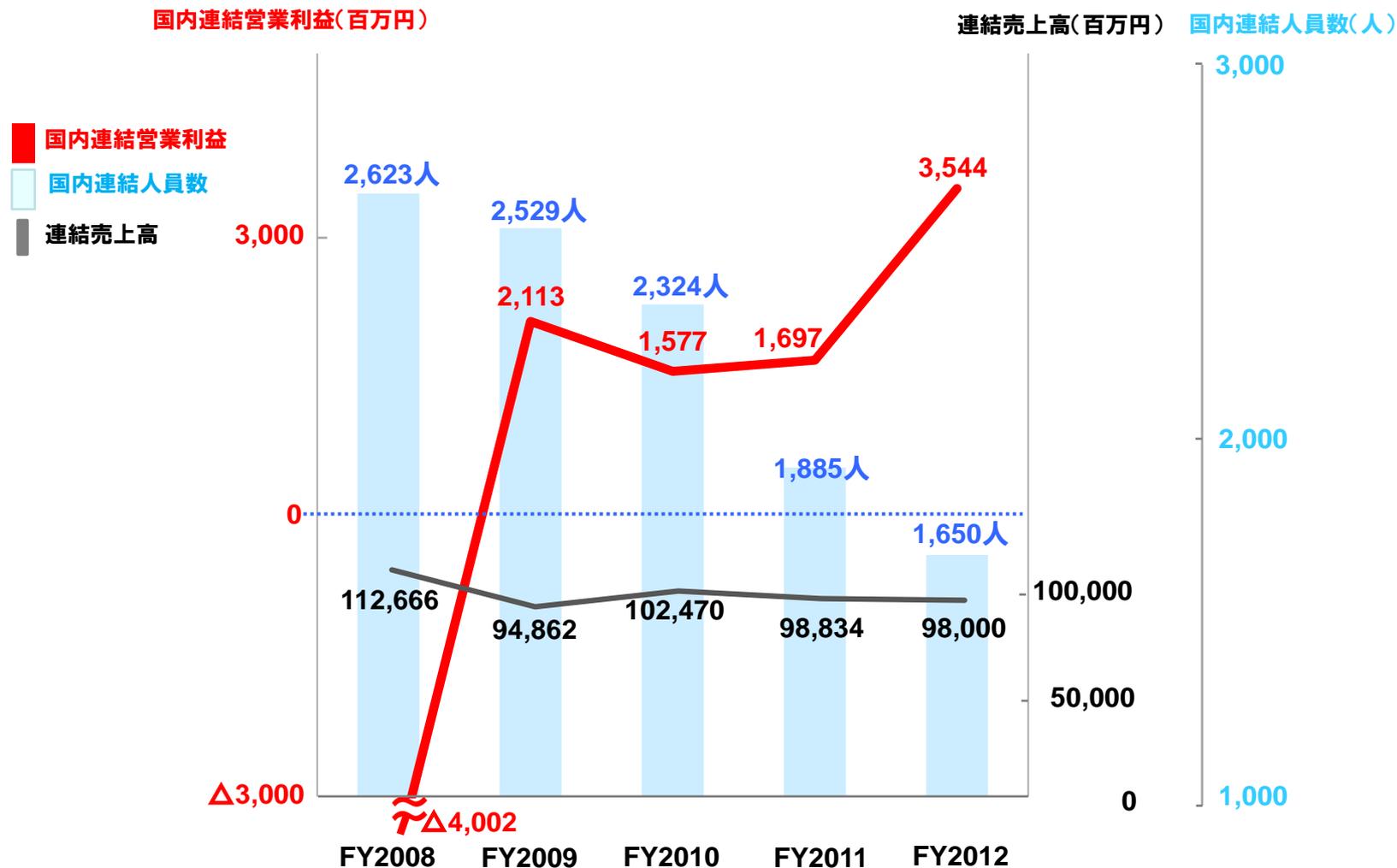
**KR-800**

NEW

**25% コストダウン!**

**開発効率アップ!  
新製品投入のスピードアップ!**

## 国内連結営業利益と人員数の推移



- 2012年度で国内のReformは常態化
- 2013年度はEnhancementに集中

**“中計2014”最終年度の  
ROE目標20%早期達成を目指して  
企業価値向上に努めます**

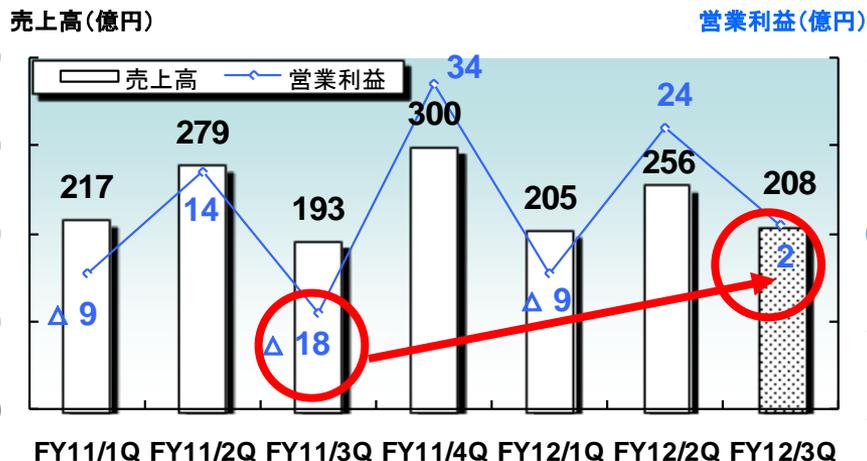


# III. 參考資料

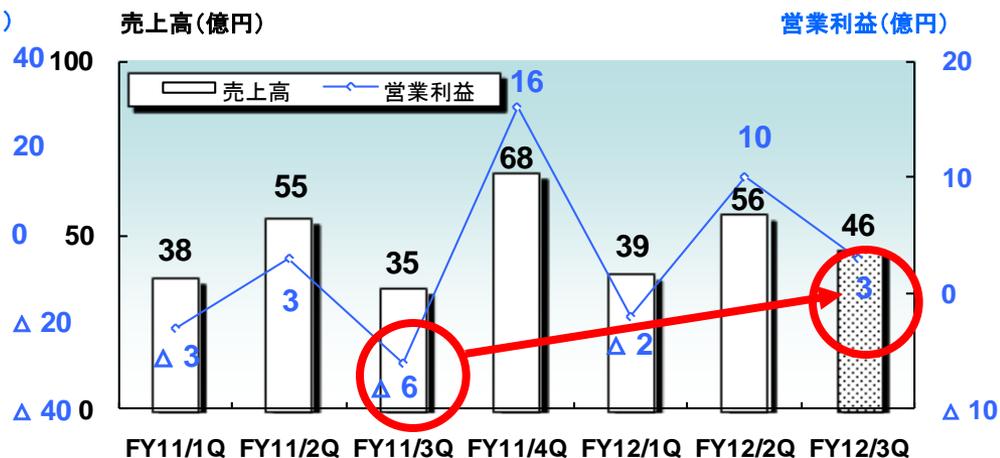
# 参考資料（四半期別業績推移）



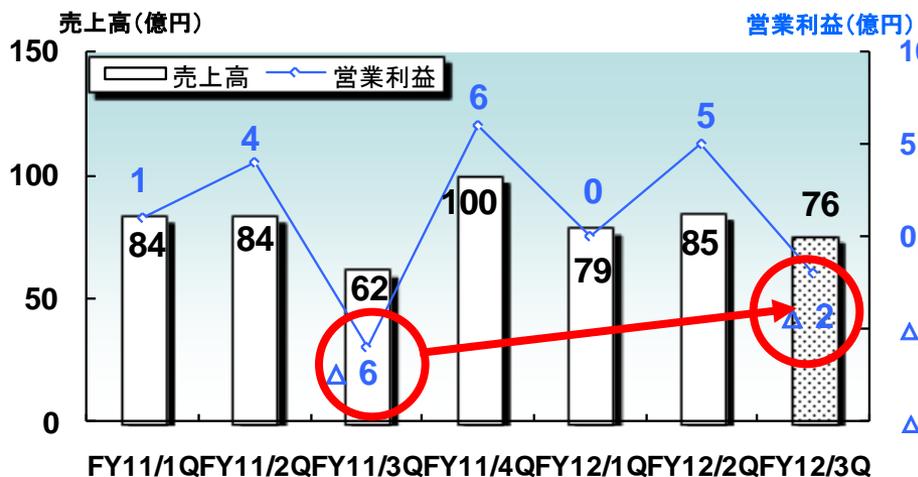
## 1. 全社



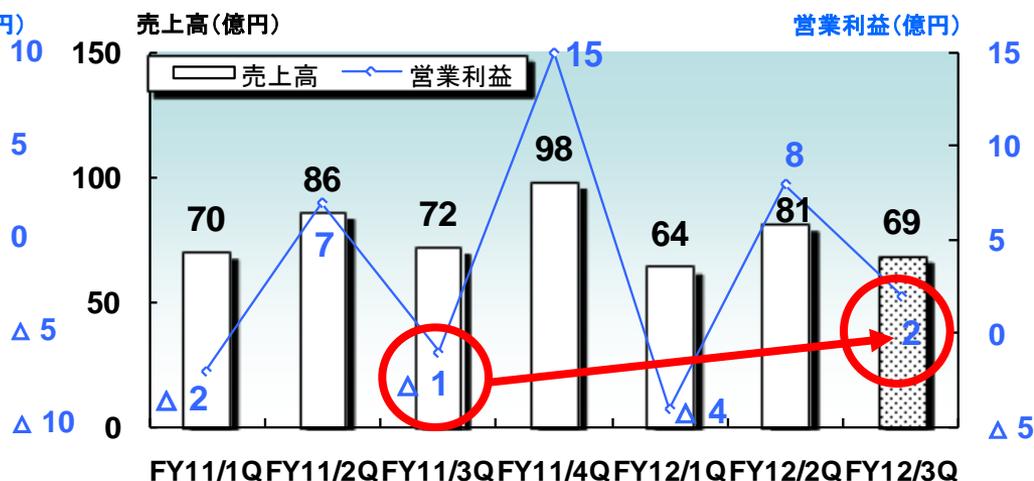
## 2. スマートインフラ



## 3. ポジショニング



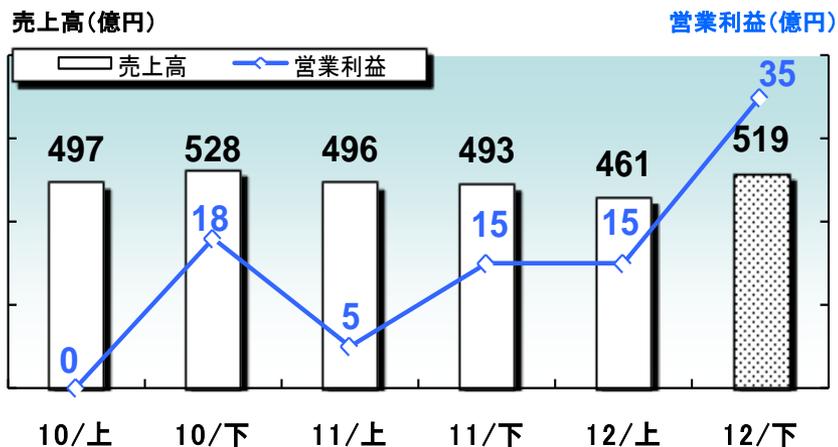
## 4. アイケア



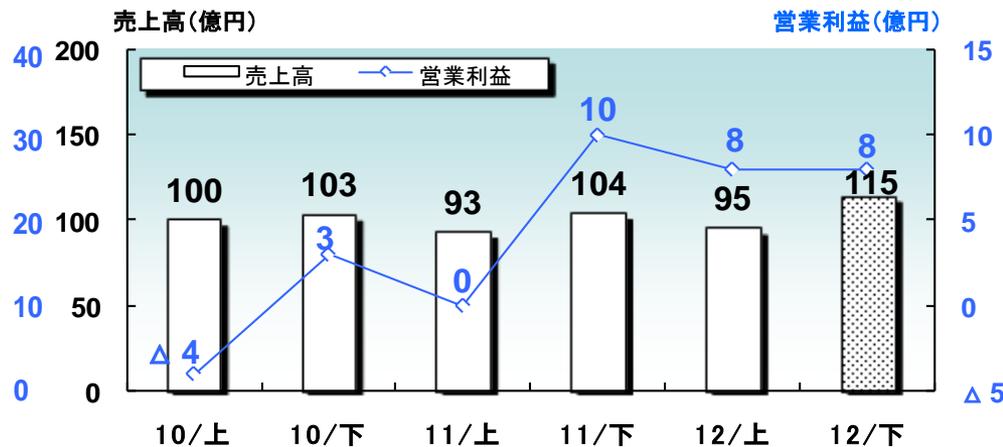
# 参考資料（半期別業績推移）



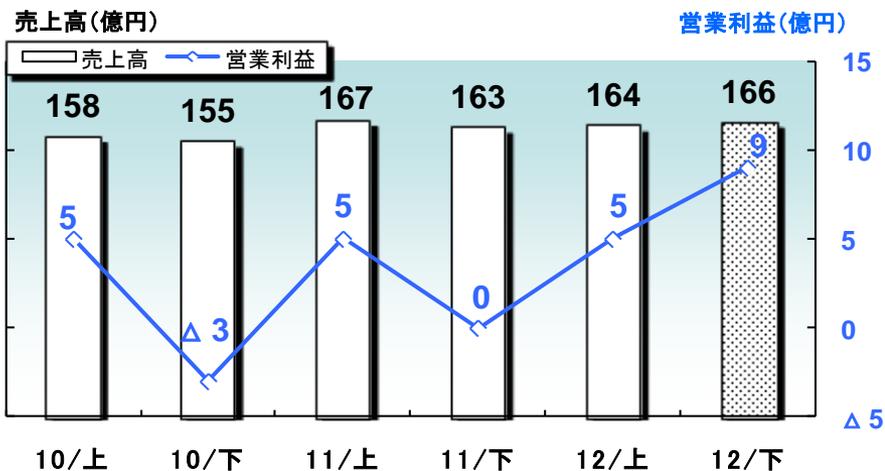
## 1. 全社



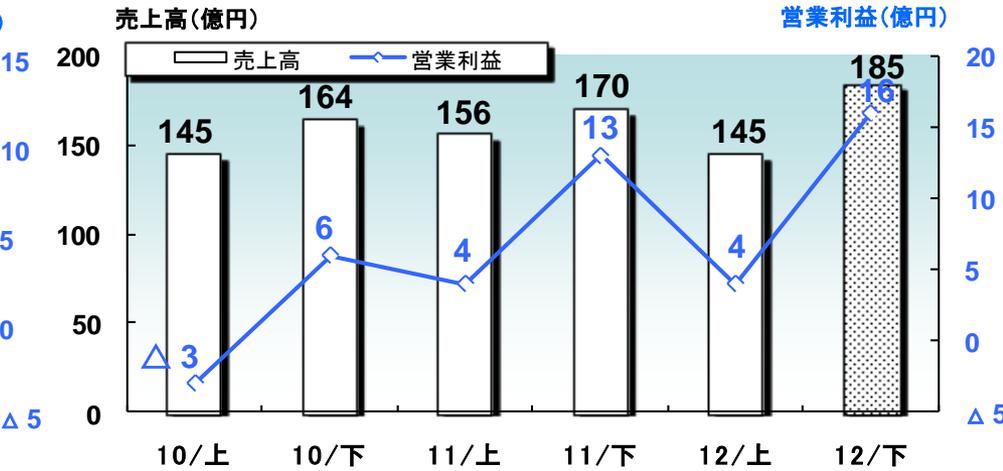
## 2. スマートインフラ



## 3. ポジショニング



## 4. アイケア



## 当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。  
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

### お問い合わせ先

株式会社トプコン 経理グループ 広報・IR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: [investor\\_info@topcon.co.jp](mailto:investor_info@topcon.co.jp)

URL : <http://www.topcon.co.jp>

